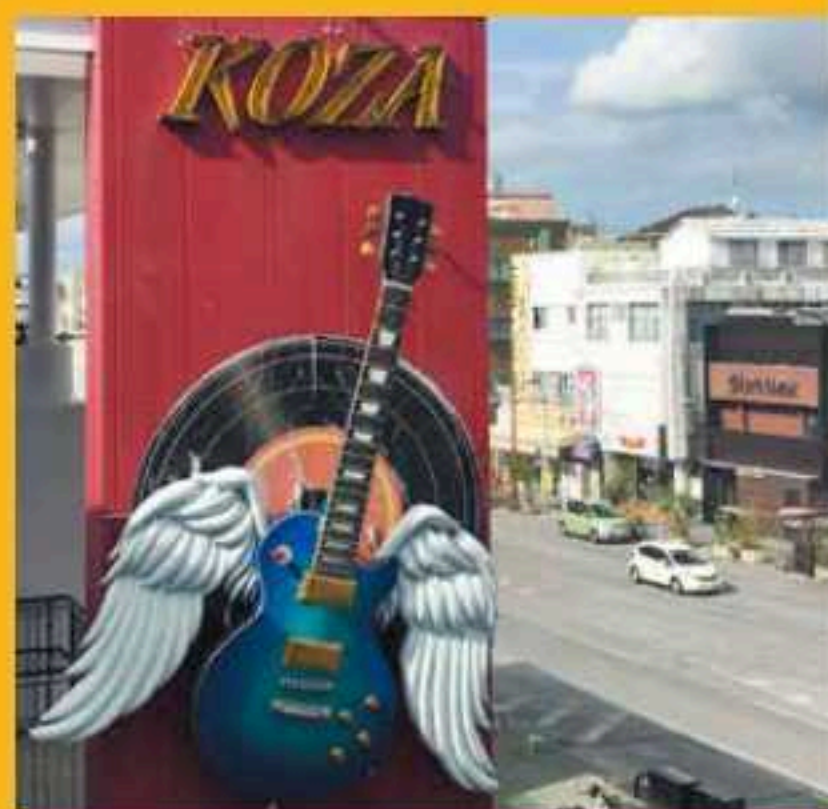


ちゅんぷるー学習帳 ㊦



沖縄市のまちなか案内帳

年 組 名前



Experience in Okinawa City

Exciting City Koza

エイサーのまち
音楽のまち♪
チャンプルーのまち

沖縄市

基地のまちKOZAを歩く
ちゅんぷるー学習帳



B5 普通野線

㊦ OKINAWA CITY

活きた平和学習「今、ここにある戦後」 基地が作ったまちから考える、これからの暮らし

第二次世界大戦後、沖縄は1972年の本土復帰まで、米国による統治下時代を過ごします。そんな中、たくましく時代を生き抜き、そして独特な文化を生み出してきた沖縄がたどった歴史を学びながら、1945年の終戦から現代へとつなげる平和学習を行っています。

沖縄市(コザ)から学ぶ 3つのポイント

- 1) 違いを認めること
- 2) 答えは1つではないこと
- 3) 自分の考えで行動すること

キーワード

米軍統治 本土復帰 基地問題 基地経済 多文化共存 コザ暴動

■After1945 基地のまちKOZAを歩く(ガイドツアー)

地元ガイドが案内するコザまち物語。
基地のまちならではのここしか聞けない話。沖縄が抱える矛盾や現状を分かりやすく解説しています。地図から消えた「コザ」だけど、古い建物や看板がまちの歴史と人の生きざまをいくつもの物語に紡いで、伝えています。

🕒 90分~120分 🧑 160名まで ※10名につきガイド1名 ※月曜日の受入不可

ガイドツアーの強み

10名前後のグループで
ガイドの話を聞きながら
まちなかを散策

少人数のグループに分かれることで、
生徒ひとりひとりの理解度が高まります。

沖縄の現状をありのままに
ご案内

偏った意見を伝えるのではなく、事実
のみを伝え、生徒それぞれが自身の
考えを育むお手伝いをしています。

学校の要望に応じて、
オリジナルのプランを提案

学習内容に応じた内容のプログラム
を提案しています。

オプション

- 平和講話 🕒 60分
- ドル体験 🕒 30分
- まちなか昼食 🕒 60分
- 振り返りディスカッション 🕒 60分



《まちの記憶1》 After 1945 基地がつくった街



写真①～③ 写真提供：中部写真館

1945年9月7日、悲慘を極めた沖縄戦の降伏調印式が、現嘉手納米空軍基地(旧越來村森根地区)で行われました。この日がコザの第一歩。米軍は、基地を抱えてしまった村をコザと名付けます。

コザには、音楽、ファッション、食など、ありとあらゆるアメリカ文化が兵士たちのドルとともに流入しました。同時に、沖縄本島はおろか離島や奄美の島々、また香港、台湾、インドなど世界各地から人が流入し、独特の文化圏を形成してゆきます。その結果コザは、「基地の街」の一言では語れない複雑な歴史を刻むことになりました。

《まちの記憶2》 1960～70年代チャンプルータウンコザ



アメリカは1950年～1953年の朝鮮動乱、1960年～1975年のベトナム戦争(内戦)に踏み込み、太平洋の要石と位置付けた沖縄から出撃していきます。米軍にとって沖縄は、アジア戦略上必須の軍事拠点として活用されました。

一方でコザは、空前の繁栄を迎えます。明日をも知れぬ兵士たちは、恐怖をごまかす手段として、大量のドルをばらまきました。当時は、1ドルあればバスでコザから那覇に行き、映画を見て沖縄そばを食べて帰ることが出来ました。1500ドルあれば家が買えた時代です。Aサインバーやレストランの中には、1日2000ドルを売り上げた店もザラにありました。皮肉なことに他国の戦争がコザに富をもたらし、兵士のニーズを通して多様な文化を生み出したのです。

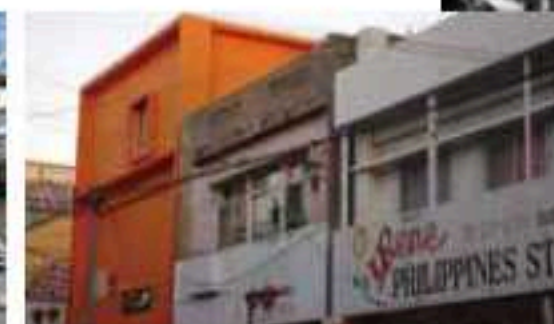
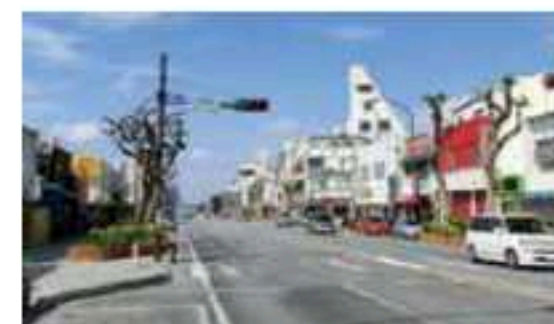
《まちの記憶3》 地図から消えた街を見つけよう

1972年、沖縄は本土に復帰し日本となりました。同年コザ市は「国際文化観光都市」を宣言、その2年後に隣の美里村と合併して沖縄市となり、地名そのものが消えてしまいました。ですがコザは、完全に消えてしまったわけではありません。米軍基地がもたらす「負」とともにヒトの多様性と異質性を受け入れ、いまでもチャンプルー文化を生み出し続けているのです。コザは地域のアイデンティティそのものとなり、街の中で息づいています。それは、通り過ぎただけでは見つからない何かであり、コザンチュ(コザの人)と出会うことによって体感できる世界です。



《まちの記憶4》 KOZAを感じるゲート通り

胡屋十字路から嘉手納米空軍基地の第2ゲートに伸びるゲート通りは、基地の門前町として発展した歴史を持っています。コザでもっともアメリカ的な雰囲気を残しており、日本なのに日本ではないような錯覚を覚えることでしょう。コザらしさをもっとも体感できるスポットです。



コザから嘉手納基地を見る

嘉手納米空軍基地の全貌が見えるビュースポットが沖縄市立図書館建物の屋上です。そこから見えるものは、日本の中のアメリカです。隣接する嘉手納弾薬庫、そして沖縄市の市街地などを見学しながら、地元ガイドにコザならではのエピソードを教えてもらおうと、一層深く理解できるでしょう。



《まちの記憶5》 The Koza Riots コザ暴動って何だろう

1970年12月20日未明、コザ市(現沖縄市)で大勢の住民たちによってMPカー(憲兵車)を含む外国人車両82台が放火される事件が発生しました。事件の直接的な発端は米兵の起こした3件の交通事故です。暴動というものの、略奪も、亡くなった人もいないことからコザ騒動とも呼ばれています。



暴徒と化した市民たちは外国人車両に放火しながらゲート通りを通過して第2ゲートに侵入し、米人学校、消防車などに放火し続けました。終息したのは午前7時頃です。争いごとを好まないと言われる沖縄人が、これほどの騒動を引き起こした裏には、25年間に及ぶ米軍統治による差別や人権侵害、相次ぐ事件事故が挙げられます。そしてコザ暴動のあと、米軍はコンディショニンググリーンを発令、民間地域の米軍人・軍属の立ち入りを規制したため、Aサイン店(米軍立ち入り許可店)は存亡の危機に立たされました。

ドル経済にリンクしたまちで発生したコザ暴動は、沖縄県始まって以来の直接的な抗議行動です。その誇りが強烈なアイデンティティとなり、地図から消えた街KOZAの物語として今も受け継がれています。



米軍に関わる事件

- 1953 米軍による土地収用令／島ぐるみ闘争
- 1955 由美子ちゃん事件(6歳女兒が米兵に暴行殺害される)
- 1959 宮森小学校ジェット機墜落(死者17人、負傷210人)
- 1968 嘉手納基地内でB52墜落、大爆発
- 1969 基地労働者の大量解雇／知花弾薬庫でサリン漏れ事故
- 1970 女子高生が米兵に襲われめった刺し／
米兵による糸満の主婦殺害事件に無罪判決／
美里中で毒ガス即時全面撤去県民大会、
そして12月20日未明……

沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート

沖縄市は、基地から派生する様々なエネルギーと異文化と接しながら、極めて個性的な文化を創出してきました。ヒストリートは、沖縄市の戦後を系統的に学べる施設です。戦後の生活雑貨や写真、資料などが展示されており、コザの歩みが一目でわかるようになっています。基地の存在が市民の日常生活にどう影響を及ぼすのか、リアルな平和学習の場として活用されています。沖縄の戦後史を通して、民族と文化について考えてみませんか。2階は、数多くの資料を活用した企画展が常時開催されています。



KOZA講話&ディスカッション

まち歩きとともに暮らしのなかにあるKOZAを聞いてみませんか。

コザまち歩きと組み合わせて、講話やディスカッションを行うことも可能です。所要時間は1時間～2時間程度。会場は沖縄市内となります。



組み合わせて、より深い理解へ。

《テーマ》

沖縄市と米軍基地、沖縄市・戦後復興と
基地のまち、コザ暴動を考える 等
ご相談ください。

コザとロック 宮永 英一さん

米軍統治下時代、BC通りを中心に米兵相手に音楽ライブを披露していた宮永さん。演奏が気に入らなければビール瓶や灰皿が飛んでくるような厳しい環境下で、世界情勢による米兵、そしてコザのまちの変化を間近で見ました。



軍用地主って何だろう

くすぬち平和文化館 館長 真栄城 玄德さん

故郷は基地の中。村に帰りたいと願った祖母の思いは叶えられず、図らずも軍用地主となってしまった真栄城さんに、軍用地主について伺います。なお、沖縄県の軍用地主は、およそ3万人です。

文化体験

多彩なプログラム群は少人数制
1プログラム4～30名程度

地域の人達と交流をしながら文化体験をしてみませんか？

沖縄市の文化体験は、音楽、食、芸能を通して、地域性や文化、伝統に触れるプログラム。
大きな施設での体験ではなく、会場は公民館や商店街、動物園など、まちなかで行うのが特徴です。文化体験を通し、修学旅行の思い出を色濃くしていきます。

■エイサー体験

「エイサーのまち」沖縄市ならではの本場エイサーを体験しよう。
大太鼓、締太鼓などのパートに分かれ演舞指導します。
体全体を使って沖縄の文化にふれてみよう。

🕒 90分 🧑 4名～25名



■沖縄の音楽に触れる三線体験

エイサーをはじめ沖縄の音楽シーンに欠かせない三線。
沖縄ならではの心地よい三線の音色を奏でてみよう！

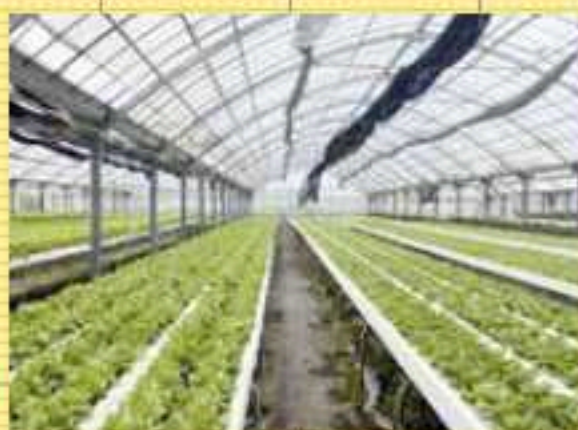
🕒 120分 🧑 5名～10名



■考える島の農業

農業は生きていく上で必要不可欠な職業。流通や消費者を
想像しながら、やりがいのあるビジネスとしての農業を体験
してみましょう。

🕒 90分～ 🧑 3名～40名



■うちなー口講座

沖縄の言葉は「方言」ではなく「独立言語」と認定されています。
うちなーぐちを習得して、地元のおじいおばあと
ゆんたくを楽しんでみよう！

🕒 60分 🧑 5名～20名



■黒糖作り体験

サトウキビの汁しぼりから、根気よく煮詰めて作る黒糖。
焦がさないように混ぜ続けるのが、成功のカギ！
※お持ち帰り可 ※時期により受入検討

🕒 90分～120分 🧑 10名～30名



■ゆし豆腐作り体験

沖縄のソウルフード「ゆし豆腐」は、本土でいうおぼろ豆腐です。
大豆を豆乳とおからに分けるところからはじめます。
ふわふわとしたやさしい味を体験してみませんか？
※試食あり

🕒 90分～120分 🧑 10名～30名



■沖縄料理体験

地元の方と一緒に沖縄料理を作ろう！
チャンプルー料理やサターアングギーなど
特性レシピを教えます。

🕒 120分～ 🧑 5名～20名



■植物園から見た沖縄の現状

植物や生物の多様性を知り、動植物園から見上げた
【戦闘機が飛来する風景】を「知って/観て/学ぶ」
探求プログラムです。

🕒 45分 🧑 4名～30名



■謎解きビンゴ

広い園内を散策しながら、写真で指定されている花や木を
探し、タテ/ヨコ/ナナメ/で記入しビンゴをしていきます。
ビンゴが揃ったら、その列の特徴の「共通ナゾ」を解いてい
くことが出来ます。

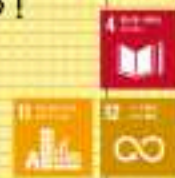
🕒 45分 🧑 4名～200名



■琉球象棋 (チュンジー)

沖縄伝統象棋「チュンジー」で将棋のルーツに触れる。
普段慣れ親しんでいる将棋と象棋がどう違うのか、
歴史とルールを習いながら先輩方と対局してみましょう！

🕒 90分～120分 🧑 4名～15名



■空手で沖縄の心を知る

古流伝統空手が息づいている沖縄で、琉球空手の真髄に
触れる本格的な空手の基本を学んでみませんか？
貴重な体験になること間違いなし！

🕒 120分 🧑 5名～10名



■あでやか！琉球舞踊体験

琉球王国時代、士族のエリートのみが踊っていた琉球舞踊。
華麗な舞に込められた思いを学びながら体験しましょう。
地元でも数居の高い琉球舞踊ですが、先生が丁寧に指導して
くれますよ。

🕒 120分 🧑 4名～8名



芸能派遣

宿泊先のホテルへ
派遣しています。



■青年会エイサーの鑑賞 & プチ体験

地元青年会とエイサーを通し、交流および伝統芸能
を学ぶ。伝統芸能を受け継ぐ青年たちの熱い思いを
感じながら、一緒に楽しみましょう！

🕒 45分～60分

🧑 派遣先施設の収容人数に準ずる



■民謡ライブ

沖縄民謡に触れ、島唄ポップスと一緒に歌い、
最後にはカチャーシーで盛り上がること
間違いなし！

🕒 45分～60分

🧑 派遣先施設の収容人数に準ずる



安全対策について

沖縄市観光物産振興協会
電話
098-989-5566

旅行社・代表者

保護者

ガイド対応

体験中の事故や病人の発生

事故者・急病人の状況を確認し
「沖縄市観光物産振興協会」へ連絡

事故者以外の安全確認・人数確認

事故や急病人の場合は最寄りの警察・病院へ通報

警察署・消防署

沖縄警察署
電話 098-932-0110

沖縄市消防本部
電話 098-929-1190

病院・保健所

中部徳洲会病院
電話 098-932-1110

中部福祉保健所
電話 098-938-9886

ご予約から体験当日までの流れ

お電話にて
空き状況の
確認

メールまたは
FAXにて
ご予約

現地下見

班分け表の
提出

修学旅行
当日

※まちなか昼食をご利用の場合、アレルギー表の提出をお願いします。



一般社団法人沖縄市観光物産振興協会

〒904-0031 沖縄県沖縄市上地1-1-1 (コザミュージックタウン1階)

電話/098-989-5566 FAX/098-989-5567

Eメール/kozainfo@gmail.com 予約受付/月～金 9:00～18:00

